

## 厳しい時こそJAMの本領発揮を！ 2009. 9. 27 「第11回定期大会」 松江市ホテル一畑で開催。

JAM山陰の第11回定期大会が、松江市宍道湖温泉のホテル一畑で9月27日に開催された。鳥取県・島根県の構成単組から代議員86名と役員23名が出席した。主催者を代表してあいさつに立った多久和英紀執行委員長は「一部に底打ち宣言がされた景気の状態も、山陰にその実感はない。厳しい状況は継続しており、人員削減や企業の閉鎖問題まで出てくる予断を許さない状況と言え。こんな時だからこそ労使協議の強化とJAM山陰と地協との連携強化が必要」と訴え、JAMの組織力や対応力の発揮で難局打開を呼びかけた。8/30の衆院選結果に触れ「政権交代で平等性を欠いた政治に訣別した。今までと政策の優先順位が変わることで、暮らしの安心と企業・雇用の安定に大きな期待をしている。来夏の参院選では必死で津田やたろう再選を果たし、民主党の政権基盤強化に貢献する」と決意を述べた。



▲挨拶する多久和委員長



▲斉藤書記長と津田やたろう参議と小室寿明衆議

続いて、多忙にも関わらず駆けつけた津田やたろう参議院議員は、冒頭8/30衆院選における民主党圧勝へのお礼を述べ、自分の選挙となる来夏の参院選に対し「単組に足を運び働く仲間を、国に訴えてきた。与党になって国会質問がやり辛くなった(笑)が、雇用・労働問題については、代弁者として責任をきっちり果たしていく。衆参両院で民主党の過半数獲得をめざし、JAMの仲間のご支援・ご協力をお願いします」と決意と支援のお願いをした。8/30衆院選において、比例中国ブロックで当選した小室寿明衆議院議員は「日が変わった1:29に残り6議席の段階で当選の知らせを受けた」と当選時の状況を話し「政権を支える貴重な一議席を皆様のお陰で頂きました。JAMをはじめ、あまねく県民の声を国政に反映するよう全力を傾注していきます」と今後の決意を述べた。

他の来賓には、連合鳥取の磯江会長と連合島根の矢倉会長や鳥取県労福協の安田理事長、島根県労福協の大崎会長をはじめ、全労済・ろうきんなど労働福祉団体からも、お祝いと激励のご挨拶を頂いた。また、組織内議員のこの成俊出雲市議や内田敬顧問と遠藤渡参与、堀内特別執行委員らも出席した。



▲第11回定期大会にご臨席頂いた来賓のみなさん

### 新体制で2010年度の活動をスタート！

大会は、古藤代議員(菱農エッジ)・下村代議員(ダイハツメタル)が議長に選出され、両議長のスムーズな進行によって、活動・会計報告や2010,2011運動方針・予算案をはじめ、用意された議案は無事承認された。また任期満了に伴う役員改選は、新たに女性執行委員を1名増やした新執行部体制が全会一致で確立され、多久和執行委員長を先頭に2010年の活動をスタート。退任された8名の役員の方々には功労者表彰が行われた。



▲古藤・下村議長の登壇挨拶



▲女性執行委員が2名となった新執行部のみなさん



▲今大会で退任された役員のみなさんに対する功労者表彰の様子

## 2010,2011年度 JAM山陰役員体制

執行委員長	多久和英紀 (三菱農機労組)	執行委員	錦織 昇 (菱農エンジニアリング労組)
執行委員長代行	堀内 幹夫 (三菱農機労組)	"	福田 真子 (菱農エンジニアリング労組)
副執行委員長	小椋 昌美 (日庄スーパーテクノロジー労組)	"	岩田 幸治 (NTN鑄造労組)
"	細木 芳治 (JUKI松江労組)	"	佐藤 恭治 (JMS労組)
"	山岡 広幸 (ヒカワ精工労組)	"	飯塚 祐子 (JMS労組)
書記長	川野 英樹 (JAM)	"	渡津 義文 (ハイレックス島根労組)
副書記長	吉田 正 (トミタ電機労組)	"	為石 雅之 (ホシキ電機労組島根支部)
執行委員	橋本 英之 (大鳥機工労組)	"	鬼村 悟 (渡部製鋼所労組)
"	杉本 安利 (神鋼JFE機器工業労組)	会計監査	吉田 健 (テクノメタル労組)
"	高嶋 淳 (明治製作所労組)	"	柴田 一樹 (ヤスイ労組)
"	森脇 毅 (オーエム製作所労組宍道支部)	"	原 直史 (ダイハツメタル労組)
"	稲田 忍 (ダイヤキコウ労組)		

今大会をもちまして退任することとなりました。在任中のご指導ご鞭撻に対し、心よりお礼申し上げます。

副執行委員長	永野 春樹 (三菱農機労組)	執行委員	佐藤 文隆 (オーエム製作所労組宍道支部)
"	広野 泰生 (ホシザキ電機労組島根支部)	会計監査	吉良 武士 (明治製作所労組)
執行委員	加納 雅紀 (渡部製鋼所労組)	"	稲田 忍 (ダイヤキコウ労組)
"	松下 博夫 (ダイハツメタル労組)	"	福田 崇 (内藤鉄工労組)

## 「地場を支える運動の構築で」2009.9.27 10周年記念式典・レセプション

JAM山陰は、1999年9月23日の結成から10周年を迎え、10年の節目を祝う記念式典とレセプションがホテル一畑で開催され、各界から多くの来賓と役員OBや代議員ら190名が出席した。JAMの斉藤常書記長は、「ものづくり結集体であるJAMは、日本を下からしっかり支える組織。地場のしっかりとした運動の構築がJAMの原動力となっている」とあいさつし、この10年の活動に対する支援と協力に感謝を述べた。企業を代表して三菱農機(株)の島崎誠常務取締役は「JAM山陰の10年の運動に歴代委員長は全て三菱農機出身となっており、改めて責任の重さを感じる。地場支える魅力ある会社づくりと競争力強化を図って、責任を果たせる企業であり続けたい」とあいさつした。記念式典に引き続き10周年記念レセプションも開催され、鏡開きやアトラクションのプロトランペッター熱田修二氏による演奏などが行われ、会場は盛り上がりつつあった。参加した新旧役員らは久しぶりの再会に、10年を振り返りながら懐かしい話に花が咲き、会場は賑やかな雰囲気のまま予定した3時間もあついう間に経過し、最後に内田敬顧問と小室寿明衆議の万歳三唱で宴を終えた。



▲島崎常務の挨拶



▲来賓の方々による鏡開きと万歳三唱の様子

# 政権交代実現。国民の大きな期待を受けて鳩山政権発進！

## 「民主 308 議席 政権交代へ」2009.8.31 第 45 回衆議院議員総選挙

8月30日投開票で実施された第45回衆議院議員総選挙は、民主党が308議席で圧勝し政権交代を果たした。野党第一党の政権奪取は戦後初となる。日本の歴史が変わる瞬間は投票締め切りと同時に訪れ、テレビ各社は一斉に「政権交代確実」のテロップが流れた。今まで幾度となく、自民党与党の壁に推薦候補者ら涙を飲んだことか…。政権交代実現の瞬間を目の当たりにし、興奮してテレビに釘付けになった人も多いはずだろう。今後の民主党の政権運営に多くの国民が期待と希望を寄せて見守っている。マニフェストの早期実現に向けて、われわれも協力しなければならない。



▲笑顔で当選印を付ける  
鳩山代表と岡田幹事長

その一方、山陰の結果は鳥取・島根とも全選挙区で自民党が勝利し、政権交代やチェンジ声は今一步届かず、改めて保守王国を印象付ける結果となってしまった。

### ◆湯原、小室氏が復活当選 <比例中国ブロック>

比例・中国ブロック(定数11)では、民主党が6議席を獲得する結果となった。重複立候補者18名のうち、選挙区当選8名を除き、惜敗率順位により鳥取2区の湯原俊二氏(惜敗率99.26%)と、島根1区のかむろ寿明氏(惜敗率65.89%)の復活当選を果たした。

鳥取1区のおくだ保明氏は、復活当選はならなかった。また、島根2区の亀井久興氏は、国民新党名簿順位1位だったが、党支持票が伸びず復活できなかった。

## 「国民の期待を受け、鳩山政権発進！」2009.9.17

民主党の鳩山由紀夫代表が16日、衆参両院で首相に指名され、民主、社民、国民新3党の連立政権が発進。この政権交代は、衆院選で多くの有権者が民主党に期待し、1票を投じた結果である。発進当初の混乱も予想されるが、新政権は果敢に日本の改革に取り組んでもらいたい。

鳩山新首相は記者会見で「とことん国民のための政治をつくる。脱・官僚依存の政治を今こそ実践していかなければならない」と強調した。

鳩山内閣の顔ぶれは、副総理兼国家戦略担当相に菅直人代表代行、外相に岡田克也前幹事長、国土交通相には前原誠司副代表と歴代代表を起用、党内バランスと安定感を重視した形となった。厚生労働相に当選4回の長妻昭政調会長代理を抜擢し、女性閣僚も2人起用された。派手さより手堅さをアピールすることで、初の本格的な政権交代に対する国民の不安を払しょくする目的だろう。

一方、仙谷由人元政調会長を行政刷新会議の担当相に起用し「閣僚人



▲第93代首相に指名された鳩山氏

事でも小沢氏の影響力が強まる」といった声にも配慮された。連立相手である社民党の福島瑞穂党首は消費者・少子化などの担当、国民新党の亀井静香代表は金融・郵政担当で入閣、両党の要望にも応えた。

新政権が、官僚の抵抗を排することができるかどうかは鳩山首相のリーダーシップにかかっている。鳩山首相が会見で「試行錯誤の中で失敗することもある」と認めたように確かに不安を抱えた船出でも、有権者が選挙で政権交代出来る仕組みを日本に定着させるには必要なことである。

来年7月には、やたら選挙の参院選が待っている。鳩山政権に必要なのは、「政治は明らかに変わった」と国民が感じられる成果だ。

第45回衆議院議員選挙結果			
	候補者名	獲得票	結果
鳥取県	<1区>		
	石破 茂 (自前)	118,121	当
	奥田保明 (民新)	63,383	
	岩永尚之 (共新)	7,336	
	細川幸宏 (諸新)	1,757	
島根県	<2区>		
	赤沢亮正 (自前)	84,659	当
	湯原俊二 (民新)	84,033	当比
	甲谷英生 (諸新)	2,082	
	<1区>		
鳥根県	細田博之 (自前)	122,595	当
	かむろ寿明 (民新)	80,789	当比
	石飛育久 (共新)	8,923	
	池田健一郎 (諸新)	2,060	
	<2区>		
	竹下 亘 (自前)	135,296	当
亀井久興 (国前)	108,192		
相浦慎治 (諸新)	2,925		



▲復活当選を果たした湯原氏と小室氏

## 「活動強化と財政バランス」2009.9.11 第4回総務財政委員会

2010年度予算を決定する第4回総務財政委員会が開催され、継続課題であった地協交付金の考え方や交付金配分比率などについて協議された。JAM山陰は、2010年度は依然続く厳しい状況において、企業・雇用対策に迅速に対応するには、地協活動の充実と強化が不可欠と位置付けている。そのため、方針に見合った地協交付金のバランスが必要となり、委員会での継続協議となっていた。今回で一定の答えが示され予算へ反映されることとなった。



## 「組織の強化も拡大も」2009.9.11 組織強化委員会



第2回の組織強化委員会が開催され、2009年度の取り組みと2010年度の方針について協議された。今期、組織拡大の成果まで辿り着かないまでも、これからの成果に結びつく取り組みを展開してきた。特に、昨年秋からの情勢悪化で、組織強化対策に特化するような状況が続いており、2010年度の活動は、組織強化と組織拡大の両輪を地協・単組と連携し取り組んでいくことを確認した。また、継続課題となっている青年協議会や女性協議会の活動充実に向けた「役員選出ルール」や「活動支援策」などについては、引き続き継続して協議することとなった。

## 「渾身の力で対処」2009.9.11 第5回執行委員会

JAM山陰は、第5回執行委員会を開催し、当面の諸課題と第11回定期大会・記念式典などの課題について協議した。多久和執行委員長は「衆院選では民主圧勝と山陰に民主党衆議院議員が誕生で、生活者重視の政治の実行を」と衆院選結果に触れ、各構成単組の協力と努力にお礼を述べた。また、最近の雇用を脅かす事態の発生に「組織の一体感と、渾身の力を振り絞って対応していこう」と呼びかけた。

委員会では、9/27開催の第11回定期大会の議案審議と10周年記念行事に関する内容を中心に協議した。



## 「代弁者を国政に」2009.8.21 鳥取地協幹事会

鳥取地協は、8/21に幹事会を開催し第45回衆議院議員総選挙の取り組み他について協議した。小椋議長は「政権交代が確実視される中で、我々の代表を必ず国政に送り込まなくては意味がない。あと残された期間を全力で取り組み」と檄を飛ばした。選挙情勢は1区・2区とも厳しく、当初優勢の判断がされていた2区の湯原俊二候補も、相手にリードを許す事態となった。残された時間を総力戦で選挙区における勝利を確認した。また、2010・2011年度の役員体制についても協議・検討がされた。

## 「地域の協力体制で」2009.8.25 出雲地協幹事会

出雲地協は、2010,2011年度のJAM山陰役員選出と出雲地協の役員体制に関わる協議のため、幹事会を招集し協議をした。各単組の規模や役員交代などの特別な事情も考慮しながら、より発展的な地協の役員体制の確立をめざした。

役員選出労組の選定までの確認がなされ、氏名・役職等は持ち越しとし、次回に協議することとした。また、投票日まであとわずかとなった衆院選について、保守地盤の強い島根県に風穴をあけるため、あと一步の努力を呼びかけた。



## 「厳しい実態続く」2009.9/28~9/30 全単組オルグ

JAM山陰は、第11回定期大会で決定した新体制による全単組オルグを実施。3日間かけて鳥取・島根の43組合を、新任のごあいさつと10周年のお礼に、多久和委員長・堀内委員長代行・川野書記長で労組と会社を訪問した。依然続く景気の低迷に、各労組・会社からは明るい情報は乏しく、若干戻ってきた受注でも一時帰休や教育訓練を続ける



ところが多いという実態。また、昨秋からの景気悪化は丸一年を経過。各企業は体力的にも限界を迎えており、合理化等の実施が懸念されるため、労使協議の強化とJAM山陰との情報連携を要請した。